



今年も残りわずかとなりました。みなさんにとって、今年はどんな1年でしたか？
病気をせず、元気に1年を過ごせましたか？12月1日は、「世界エイズデー」。今も1日4人のペースで新規感染者の報告があり、HIV・性感染症は若者の間で特に増加。性行為をする人は誰にでも感染のリスクがあると言えます。自分の身近な問題として考えてみませんか？

性感染症(STD または STI) ってなに？

性感染症とは、セックスやキスなどの性的な行為によって感染する病気のことです。クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスなど様々な病気があります。エイズも性感染症の一つです。

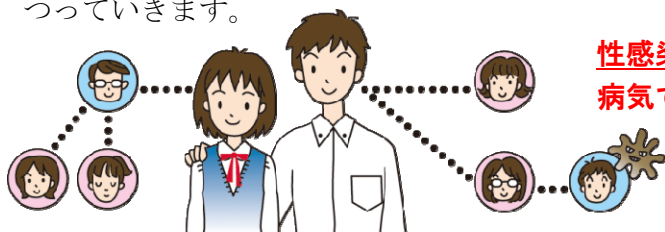
性感染症の原因はウイルスや細菌です。

これらは、のど、口、目、肛門、性器などの粘膜の部分で育ち、どちらかが感染していたら、性器や肛門、口などを介して相手にうつっていきます。



性感染症は、性交経験のある人なら、誰でもかかる可能性のある

病気です。感染しても何の症状もないことがあるので、男性も女性も感染していることを知らずに普通の生活をしている可能性があります。もしかしたら、今の恋人や前の恋人から感染する危険性は誰にでもあるのです。



こんな症状には気をつけて

女性

おりものの量や色の変化
下腹部の痛み
下着に膿や少量の血液がつく



女性

性器のかゆみや痛み、イボや発疹
唇や口の中、のどにできものがある
のどの奥の痛み

男性



男性

排尿時の痛み
おしっこに膿が混ざる
おしっこが近い

性感染症(STD または STI)の予防

コンドームを使わない性行為では、誰でもエイズを含む性感染症に感染する可能性があるのです。

(ピルは女性が飲むホルモン剤で妊娠を防ぐことができますが、性感染症やエイズを防ぐことはできません)。



マイコプラズマ肺炎 流行中！

- 【症状】長引く咳・発熱・風邪の症状
- 【潜伏期】2～3週間
- 【感染経路】せきやくしゃみによる飛沫
- 【予防】うがい・手洗い・マスクの着用

※出席停止の感染症ではありませんが、医師の指示により出席停止の指示があった場合は、学部教務課に申し出てください。

**しつこい咳が続くときは、
早めに医療機関を受診しよう！**

